

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月29日

### 【評価実施概要】

事業所番号	3873500767		
法人名	有限会社 オアシス		
事業所名	グループホームほかほか		
所在地	伊予郡砥部町高市1318番地 (電話) 089-969-2760		
管理者	大平 真里子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年12月24日	評価確定日	平成21年1月29日

### 【情報提供票より】 (平成20年12月9日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成17年4月20日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	11人	常勤	7人, 非常勤 4人, 常勤換算 7.3人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	20,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		
(3)利用者の概要 (平成20年12月9日現在)			
利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	2名	要介護2	2名
要介護3	4名	要介護4	1名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 84.8歳	最低 76歳	最高 96歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>入居前には、ご本人やご家族とゆっくりお話をされ、どのように暮らしていたか知るようになっている。ご本人が不安を感じるような時に、ご家族の協力を得て、ご本人あてに手紙を書いていただいたこともある。</p> <p>事業所では、昔の環境を作り、皆で協力し合って生活することを大切にされており、職員は、利用者からつるし柿の作り方等を教えていただいたり、山菜を採りに出かけることもある。</p> <p>利用者が地域の方達とともに、高野山に1泊旅行に出かけた際には、職員も数名同行された。ご家族の希望があれば、ご本人と外出することもできる。</p>
--

### 【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・この一年間、車椅子を利用されている利用者の外出支援等に取り組み、身体機能や意欲向上につながれた。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・ケアマネージャーが職員に聞き取りながら自己評価を作成され、その後、ホーム長や管理者で話し合いまとめられた。自己評価に取り組み、「利用者ご本人の要望を聞いているか」ということについて振り返られた。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・運営推進会議では、事業所の活動報告や、グループホームのさらなる理解に向けて、法人代表者が「認知症について」お話をされている。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・ご家族の来訪時や電話で、ご本人の様子を伝えておられる。ご家族全員に運営推進会議開催の案内をされている。風邪が流行っているようなときには、玄関先での面会となる場合もある。年末のクリスマス会に来られたご家族もあるが、来訪やご意見等が出ることは、やや少なめである。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・毎年行う事業所主催のクリスマス会では、餅つきもされ、地域の方達や山村留学の生徒等、約70名くらいの方が集り、盛大に行われた。地域の方がお手伝いに来て下さっている。</p>

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームぽかぽか

(ユニット名) \_\_\_\_\_

記入者(管理者)

氏名

大平 真里子

評価完了日

平成 20 年 12 月 5 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>独自の運営理念を作り、職員が意識して取り組めるように見えやすい所に貼っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>「住み慣れた地域の中で馴染みの職員と過ごす」という理念のもと、地域とのつながりを大切にされており、「笑顔で明るく」と、職員の心得もともに掲げ、取り組んでおられる。</p>		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>理念の共有と実践に向けてお互いに協力し、コミュニケーションを取りながら努力している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間に事業所の理念を掲示されていた。職員の採用時にホーム長（法人代表者）は、事業所の理念を伝えておられる。</p>		さらに、職員が事業所の理念を共有してケアを実践できるよう、理念について全職員で具体的に話し合うような機会を増やしていかれてほしい。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議や、地域の行事等に参加する際にホームの理念についても理解を深めてもらえるように呼びかけている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価)  散歩や買い物の際に挨拶をすることで顔を覚えてもらったり、覚えるようにしている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価)  地域の行事に参加したり、老人会に参加することで交流を深めるようにしている。  (外部評価)  毎年行う事業所主催のクリスマス会では、餅つきもされ、地域の方達や山村留学の生徒等、約70名くらいの方が集り、盛大に行われた。地域の方がお手伝いに来て下さっている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価)  運営推進会議で、地域の方と話し合う機会が増えた。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価)  自己評価や外部評価をすることで、改めて現在の状況を見つめ直す機会になっている。今後も評価を活かして改善に取り組みたい。  (外部評価)  ケアマネージャーが職員に聞き取りながら自己評価を作成され、その後、ホーム長や管理者で話し合いまとめられた。自己評価に取り組み、「利用者ご本人の要望を聞いているか」ということについて振り返られた。この一年間、車椅子を利用されている利用者の外出支援等に取り組まれ、身体機能や意欲向上につながられた。		さらに、サービス評価の仕組みを活かして、事業所のさらなるケアの質向上を目指していかれることが期待される。評価項目を活かして研修効果をねらう等、職員の勉強会等でも活用されてみてはどうだろうか。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>運営推進会議では、利用者についてのサービス報告や参加者からの意見や要望を元に話し合いをしている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>運営推進会議では、事業所の活動報告や、グループホームのさらなる理解に向けて、法人代表者が「認知症について」お話をされている。</p>		<p>今後、会議時、ご家族もたくさん参加いただけるよう、働きかけていきたいと考えておられる。日時の工夫等についても検討されていた。ご家族が参加しやすいような工夫を重ね、事業所を利用する立場からのご意見をいただけるよう、すすめていかれてほしい。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>運営推進会議以外では、連絡会等に参加している。</p>		
			(外部評価)		
			<p>毎月、介護相談員の受け入れをされており、訪問時は、ともに仕事をされることもある。又、「家庭的な雰囲気がいい」と感想もいただいた。市が主催する会議では、介護相談員の方からの発表等を聞くような機会もある。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>必要に応じてその都度対応している。</p>		<p>講習などに参加することで職員の知識の向上に努めたい。</p>
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>ミーティングの時に虐待についても話し合う機会を持ち、利用者への配慮に努めている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約の時には、時間をかけて利用者や家族等の不安、疑問に答えるようにして納得してもらっている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ホーム内に苦情受付窓口を設けて、ホーム長がその都度対応することになっている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ケアプランを基に、家族への定期的な報告、確認を行っている。家族からの問い合わせには、その都度対応している。		面会が少ない家族に運営推進会議等の報告をすることで、参加を呼びかけたい。
			(外部評価) ご家族の来訪時や電話で、ご本人の様子を伝えておられる。ご家族全員に運営推進会議開催の案内をされている。		さらに、ご家族が事業所のことをさらに知ることができるよう報告の工夫を重ねていかれてほしい。例えば、職員の紹介や取り組み、食事のことや支援について等、ご家族の関心のあること等も探ってみてほしい。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約の時に、苦情に関する説明を行い、当ホーム内の苦情受付窓口や行政機関等の苦情受付の案内を行っている。		
			(外部評価) 風邪が流行っているようなときには、玄関先での面会となる場合もある。年末のクリスマス会に来られたご家族もあるが、来訪やご意見等が出ることは、やや少なめである。		ご家族が事業所を気軽に訪れられるような雰囲気作り等の工夫を重ねていかれてほしい。又、ご家族に事業所や認知症について、さらに理解を深めていただけるような取り組みの工夫が期待される。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)  ミーティングで職員の意見を聞く機会を設けている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)  職員それぞれの特性や要望に応じながら役割を分担し、必要な時間帯に対応できるように調整している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)  事業所内での異動はないが、離職の際には利用者への影響を抑えるように気配りするようにしている。  (外部評価)  事業所では、職員の勤務希望を聞き、シフトを組むようにされている。又、職員が入れ替わる際には、利用者のダメージを抑えられるよう、「自然に入れ替わることができるよう気配りしている」と話しておられた。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)  ホーム長が積極的に研修への参加を呼びかけて知識の向上に努めている。職員は、ミーティングで報告し、他の職員の意識の向上をはかっている。  (外部評価)  ミーティング時には、ケアについて話し合っておられる。課題発生時には、職員で集まり話し合いをされている。又、ホーム長（法人代表者）が利用者への接し方等についてアドバイスをされている。		さらに、職員個々の段階に合わせた研修の受講をすすめ、又、認知症のこと等、知識や技術を深めていけるような研修の受講や勉強をすすめていかれることが期待される。職員個々のさらなるスキルアップから、貴事業所の質向上を目指していかれてほしい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			グループホーム連絡協議会に参加したり、研修などで交流することで、意見交換している。		
			(外部評価)		
			ケアマネージャーは、町内のケアマネ連絡会に出席され、他事業所と情報交換をされている。		事業所では、他グループホームとの交流を通じて、ケア等への取り組みを知りたいと考えておられる。今後さらにネットワークを拡げ、貴事業所のケアの質向上につなげていかれてほしい。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			ホーム長が積極的に職員とコミュニケーションを取るようにしている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			研修を利用して職員に向上心を持たせるように取り組んでいる。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居時、入居前から本人の思いや希望を聞いている。また、入居されてからも要望等聴く機会を持つように心がけている。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時から入居時にかけて、家族の思いや希望を聴いている。また、入居されてからも家族からの希望があればその都度対応している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人や家族の意向を聴き、必要としている支援を見極め、他のサービス利用もできるように努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居時には、本人の生活パターンを尊重し、利用者のペースで過ごしてもらえるように配慮している。 (外部評価) 入居前には、ご本人やご家族とゆっくりお話をされ、どのように暮らしていたか知るようになっている。ご本人が不安を感じるような時に、ご家族の協力を得て、ご本人あてに手紙を書いていたことある。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 職員は、利用者と同じ時を過ごし、一方的に支援するだけではなく、共に支えあい、学びあう関係を築いている。 (外部評価) 事業所では、昔の環境を作り、皆で協力し合って生活することを大切にされており、職員は、利用者からつるし柿の作り方等を教えていただいたり、山菜を採りに出かけることもある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)  毎回ではないが、ケアプランの確認では、家族宅に訪問し、説明と同意を得るように努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価)  入居時に本人の生活状況や生活歴、家族との関係を把握し、利用者個々の家族の關係に配慮するようにしている。面会時には、家族の思いや本人の家族に対する対応に変化がないか確認し、把握するようにしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価)  なじみの理髪店を利用したり、友人に訪問してもらっている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価)  利用者同士が会話している場面があればさりげなく見守り、関係が悪化する場合には対応している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)  地域を含めて関係が切れることがないように声かけや見守りを支援している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			可能な限り本人の思いや希望を尊重している。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者との会話をケア記録に留めるようにされている。		さらに、個別で細やかな支援を行うためにも、利用者個々の情報を集め、ケアにつなげていけるような取り組みが期待される。又、意思表示の難しい方についても、情報収集や汲み取るための工夫を重ねていかれてほしい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			利用者や家族との会話などから生活歴や暮らし方、生活環境、サービス利用の経過等の把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			職員が本人の状態を総合的に把握し、変化に対応できるように努めている。利用者のペースを尊重しながら、得意なこと、好きなこと、趣味などに対して声をかけている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			利用者の状況について、ミーティングや状況に応じてその都度職員で確認し、ケアプランに反映させている。家族には電話で確認している。		
			(外部評価)		
			職員の日々の気付き等を探り入れ、介護計画を立てておられる。ご家族にも意見を聞くようにされているが、現在は、意見が出ることは少なめである。		事業所の基本方針「自分らしさや誇りを持った暮らし」を支援できるよう、さらに、ご本人・ご家族の意見や希望を十分に採り入れた計画作成に取り組んでいかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			見直しや追加のケアプランを作成する時には、職員や家族に確認している。		
			(外部評価)		
			3か月に1回、ミーティング時に話し合い、介護計画を見直すようになっている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			申し送りノートを利用して職員間での情報の共有に努めている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			電話をかけたいという要望や、手紙をかいでもらうように家族に伝えて欲しいなど柔軟に対応している。		
			(外部評価)		
			利用者が地域の方達とともに、高野山に1泊旅行に出かけた際には、職員も数名同行された。ご家族の希望があれば、ご本人と外出することもできる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議で協力していただけるような関係を築いている。定期的に介護相談員による慰問がある。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 施設ケアマネ連絡会に参加している。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 入居者の紹介を地域包括支援センターにしている。また、問い合わせなどもあるので、状況に応じて協働している。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時に本人、家族に確認をとっており、症状に応じて受診の相談をしている。 (外部評価) 病院受診は、看護師資格を有する職員が同行されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 入居時に本人、家族に確認をとっており、症状に応じて受診の相談をしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)  入居時に利用していた関係者から情報収集している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)  病院側との話し合いを家族だけの対応に任せるのではなく、ケアマネも一緒に対応し、長期入院になった場合の対応など話し合うようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  本人の意思を確認し、その意思通り職員間で対応できるかをミーティングで話し合う。  (外部評価)  事業所では、ご家族やご本人の希望があれば、最期まで看ることを決めておられた。		ご家族の中には、事業所で最期まで見てもらいたいと希望されている方もある。今後、ご家族との信頼関係を深める等の体制作りや職員のスキルアップ等、取り組みをすすめていかれてほしい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)  本人の意思を確認し、その意思通り職員間で対応できるかをミーティングで話し合う。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)  家族や職員間で話し合いや情報交換を行い、利用者のペースを優先して対応するようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1.その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉かけや対応については、気配り出来るように注意している。記録等については、個人情報が出ることがないように起き場所や管理に気をつけている。		
			(外部評価) 職員は、利用者にやさしく接しておられた。皆とちょっと離れた場所で、くつろいだりおしゃべりができるようなスペースもある。		利用者に対する言葉かけや呼び方等について、時に、職員で話し合われたり、外部者の意見を聞く等、客観的に点検する機会を作ってみてはどうだろうか。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望や思いが伝わりにくい時には、分かるまで根気よく様々な表現方法で意思疎通をはかり、納得して過ごせるようにしている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) できるだけ、利用者の希望を優先しながら生活出来るように対応している。		
			(外部評価) 散歩や畑仕事をされたり、午後からは、横になり休むような時間を設けておられる。調査訪問時、利用者同士でソファに座り、おしゃべりをされている姿もうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ホームが町から離れているため、日程の調整が難しく理容、美容については、その都度職員が対応している。身だしなみについては、利用者の要望を取り入れながら支援している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備から後片付けまで、利用者がそれぞれに力を活かせるように職員と一緒に支援している。  (外部評価) 利用者と山に出かけて採った山菜や、畑で収穫した野菜の調理方法を相談しながら料理をされている。魚屋が来てくれるようになっている。		「利用者個々が食事を楽しむ」ための支援について、利用者個々の好みを探ったり、メニューや食器の工夫、食事時の職員のかかわり方等、支援に工夫できることはないか話し合ってみてほしい。さらに、利用者個々のお誕生日は、ご本人にとって特別な日でもあり、利用者やご家族とも相談しながら、お祝いの工夫をされてはどうか。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の嗜好を聞いてできる限り希望に沿うように努めている。甘い物が好きな人には、おやつ時に配慮している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンや習慣を把握し、失敗なく気持ちよく排泄できるように声かけ誘導している。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			曜日は決まっているが、出来る限り本人の希望やタイミングを考慮し、希望に沿うように努めている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者に入浴の声かけを行い、支援されている。入浴に気がすすまないような方にも、タイミングをみながら声かけされている。		さらに、利用者個々の入浴の習慣を探ってみてはどうだろうか。これまでの習慣等をケアに採り入れる等、ご本人がより良く生活できるよう、支援に工夫を重ねていかれてほしい。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			暑さ寒さ照明にも配慮して、安心して眠りやすい環境を提供している。朝食後、昼食後は、自室で休まれる方もおり、利用者のペースで過ごされている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			本人の希望に沿って、可能な範囲で支援している。畑仕事、料理の下ごしらえ等それぞれの力を活かした支援をすることで、利用者の役割や喜びになるように対応している。		
			(外部評価)		
			畑で野菜を作られたり、山菜やどくだみを採りに山に出かけ、日常生活の中で使用されている。通信カラオケの機器もあり、カラオケを楽しまれることもある。新聞や雑誌を読まれている方もいる。		事業所の基本方針「自分で出来る喜びと達成感のある暮らし」をさらに支援するためにも、利用者個々の思いを探り、利用者の自信と活力のある暮らしに向けて、支援に工夫を重ねていかれることが期待される。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			現在は、お金を所持したり使えるような支援はしていない		
					利用者や家族からの要望があれば今後対応していきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			対応可能な限り勤務体系を整えてできる限り希望に沿えるように支援している。		
			(外部評価)		
			小学校の運動会や町のお祭り・盆踊り、お花見等に出かけておられる。ボランティアの方のお手伝いもいただけるようになっている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			花見、そうめん流し、夏祭り、運動会、秋祭り等定期的に外出の機会を作っており、家族にも案内している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話をかけたいという希望はないが、家族よりかかってきた時は、本人にも取り次いでいる。家族より手紙が届くと本人に渡している。返事を書きたいという時は希望に応じるように支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			感染症等が流行っていない時は、気軽に訪問していただいている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束について理解し、身体拘束をしないケアを実施している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
			(外部評価) 玄関は鍵を掛けず、出かけられる方には職員が付き添うようにされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 目配り、気配りしながら安全に配慮している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人一人の状態に応じて危険を防ぐ取り組みをしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人一人の状態に応じた事故防止に取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変時や緊急時の対応の仕方、連絡の仕方はマニュアル化している。応急処置や初期対応の訓練は、講習などに参加して備えている。		今後も講習や訓練などで急変や事故発生時の備えにしたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力による訓練を実施し、安全な避難や誘導ができるようにしている。 (外部評価) 運営推進会議時に避難訓練を行われた。消防署の協力を得て、消火訓練等をされたり、避難経路についてもアドバイスをいただいた。		すべての利用者が安全に避難できるよう、今後もさらに、職員での話し合いや訓練を重ねていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) ケアプランにおいて家族等に説明しているが、緊急時の対応などは家族にリスク等を説明し同意を得ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調の変化や異変の早期発見に努め、気付いたときは職員全員が連絡ノートに書きとめ、申し送り時に口頭で伝え情報の共有をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 薬剤情報で確認し支援している。分からない時はその都度看護師に確認している。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 起床時に冷たい牛乳やアロエジュースを飲んだり、散歩や運動などでなるべく薬に頼らないように支援している。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 毎食後、必ず声かけをして一人一人に応じた口腔ケアの支援をしている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 一人一人の状態や力に応じて食事の量や栄養バランスを考えた献立を作り、水分量が不足することのないように努めている。</p> <p>(外部評価) 毎日、アロエジュースを飲んでおられる方がおられる。食材は、刻む等食べやすくされている方もあった。管理者は、「食材の歯ごたえを大切にしている」と話しておられた。居間には、お茶を常備されていた。</p>		<p>日々の食事について「栄養バランス」や「水分確保」という観点から、定期的に職員で話し合うような機会を作ってはどうだろうか。又、日々の食事について、外部者から意見を出していただくような機会も作ってみてはどうだろうか。</p>
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>(自己評価) 手指の消毒は勿論、手袋の使用の徹底やトイレ、台所の清潔にも気を配っている。予防や対応については、マニュアル化している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>調理器具は清潔を保つように管理し、古い食材や使いかけの食材を放置せず使い切るようにしている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者と一緒に植えた鉢を並べて、明るく親しみやすい雰囲気作りをしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節に合わせた花や写真、利用者による工作や絵を飾って居心地のいい空間づくりをしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、クリスマスツリーを飾っておられた。新聞や週刊誌が用意されており、色鉛筆やお手玉も目に付くところにあった。事業所では、室温は低めで、衣服やこたつで暖をとる「利用者のこれまでの環境」を続けられるようにされている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>独りになりたいときには各自部屋で過ごされている。共用空間では、利用者同士が会話したり、工作等している。職員が見守りながら雰囲気づくりをしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人や家族と相談の上、出来る限り慣れ親しんだ物の中で、居心地よく過ごせるようにしている。		
			(外部評価)		
			各居室に植物の鉢植えを置き、ご本人と職員で世話をされている。折り紙で鶴を折り、居室の出入り口の暖簾として吊っておられた。利用者とともに作った折り紙等の作品がたくさん飾られていた。		さらに、この機会を、居室のしつらえや室温等、利用者個々がくつろげるような空間となっているか、ということについて、すべての職員で話し合うような機会とされてはどうだろうか。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			窓の開閉などをこまめに行うことで換気に努めている。温度調節は利用者の状況に応じて行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			手すりを設置したり、共用の空間を出来る限り広くすることで、通行に支障がないように配慮している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			一人一人の状況に応じて対応することで混乱や失敗を防ぐよう配慮している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物の外にウッドデッキがあり、気候の良い日には日光浴したり、畑に出たりしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	会話や家族とのかかわりの中で、利用者の思いを掴もうとしている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食後はすぐに片付けしないで職員や利用者同士で会話しながら過ごしている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	興味のある話をするとう表情に表れることがある
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望を優先しながら可能な範囲で対応している
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が日頃から状態の変化に早めに対応するようにしている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況や内容に応じて対応している
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 1 ほぼ全ての家族と 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時にご家族への報告や要望等聞くようにしている
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	以前よりは増えたが、行事のない日の訪問はまだ少ない



項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くいない	出席者の幅も少しずつ増えている
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者が少しでも自立した生活を送れるように支援している。日々の生活の中で一人一人の状況に応じてその都度、家族や職員と相談しながら対処している。ホームの立地や環境を活かして穏やかに過ごせる工夫をしている。